

# 全国学校給食週間(令和7年度)

令和8年1月24日(土)~30日(金)

清須市学校給食センター

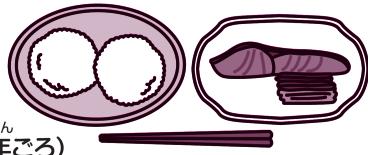
がつ こう きゅう しょく

## 学校給食のあゆみ



明治 22(1889)年、山形県の私立忠愛小学校で、貧しい子どもたちへ食事を提供したのが始まりとされています。この学校は大督寺というお寺の中にあり、お坊さんたちが日々を回ってお経を唱え、いただいたお金や食べ物を使って食事を用意していました。大正 12(1923)年には、子どもたちの栄養状態を改善するための方法として、学校給食が国から奨励されるなど、各地へ広がりましたが、戦争による食料不足で中止せざるを得なくなってしまいました。

おにぎり  
や ざかな  
焼き魚  
つけもの  
漬物  
めいじ  
(明治 22年ごろ)

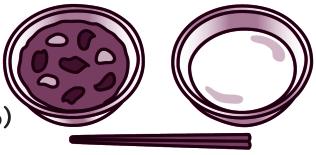


ご し き  
五色ごはん  
えい よう  
しる  
栄養みそ汁  
たい よう  
(大正 12年ごろ)



戦後、子どもたちの栄養状態の悪化を心配する声が高まり、昭和 21(1946)年 12 月 24 日に LARA(アジア救援公認団体)から給食用物資の寄贈を受けて、翌 1 月に学校給食が再開されました。当初は 12 月 24 日を「学校給食感謝の日」としていましたが、その後、冬休みと重ならない 1 月 24 日からの 1 週間を「全国学校給食週間」とすることになりました。

ミルク  
トマトシチュー  
(昭和 22年ごろ)

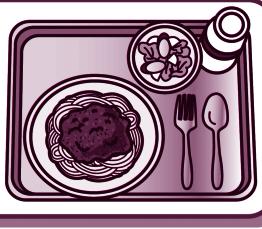


コッペパン・ミルク  
たつた あ  
クジラの竜田揚げ  
せん切りキャベツ  
(昭和 25~30年ごろ)

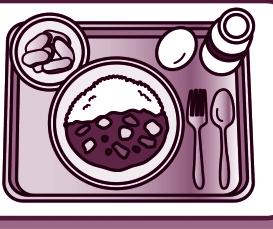


昭和 29(1954)年に「学校給食法」が成立したことで、実施体制が法的に整い、学校給食は教育活動として位置付けられるようになりました。主食はパンが中心でしたが、昭和 51 年に米飯(ご飯)が正式に導入されると、カレーライスや炊き込みご飯などが登場し、献立内容が充実していきました。

ミートスパゲッティ  
牛乳  
フレンチサラダ  
(昭和 40~50年ごろ)



カレーライス  
ぎゅうにゅう しお  
牛乳・塩もみ  
たまご  
ゆで卵  
(昭和 51年ごろ)



### 学校給食週間中に登場する愛知の郷土料理

#### 五目きしめん



ひきすり



みそおでん